

認知症
三二講座
⑦

周辺症状もの盗られ妄想

アルツハイマー病でみられる「妄想」で、多いのが「もの盗られ妄想」です。この周辺症状は、比較的身体に問題のない、認知症の初期に現れることが多いようです。

「もの盗られ妄想」の多くは、お金や財布、通帳や印鑑を盗られたと言います。

通常私たちは、物を片付けた場所を忘れて探す時「どこに片付けたっけ？」と思いつく場所を探します。それは自分で片付けたという認識があり、適切な判断ができている状態です。しかし「認知症」の方は、色々な要素から誤った解釈で、見つからないことを「誰かがもつていった」と、周囲のせいにしてしまいます。ではどうしてこのような症状に繋がるのでしょうか。

もの盗られ妄想の原因

「認知症」の方が、何か失敗や間違ったことをした時、「介護者」がそれを指摘したり、注意したりします。「認知症」の方は自分の間違いが認識できず、それが怒りや悲しみなど、「一時的に感情が揺さぶられます。そのことが原因でだんだん被害者意識が強くなり「無くなった」盗られた」といつ「妄想」になつてしまつていきます。

また「もの盗られ妄想」は、関わりが深い「介護者」がドロボウにされやすいと言われています。しかし、突然ドロボウにされてしまった「介護者」は、びつくりしてしまいます。「今まで一生懸命に面倒をみていたのに…感謝されていたのに…」

「なんで？」思わず強く否定して、怒つてしまうこともあるでしょう。ドロボウにされてしまった「介護者」が、慌てて否定する様子を見て「認知症」の方は、ますますその人がドロボウだと確信し、物が見つからないと盗られたという「妄想」が強くなります。

症状が出た時の対応

「もの盗られ妄想」は否定や訂正は通じません。かえって興奮させる原因になります。関わっている自分が悪く言われるのですから、否定してしまいがちになりますが、そこをぐつぐつとこらえ、まずは、深呼吸して気持ちを落ち着かせましょう。訴えを受け入れ、本人の言葉を繰り返してみます。「お金を盗られたの？」「大変ね」「どこかに買ひ物にいくの？」と質問を返

してみるのもよいでしょう。なるべく「はい、いいえ」で答えられないように質問するのが良い方法です。

また、見つからない物を一緒に探す場合、介護する人が見つけてしまうと、疑いをはらいたい気持ちが先にたち「ここにあるじゃない」と、思わず言つてしまいがちになります。しかしそれはかえって逆効果になってしまつてしまいます。なるべく「認知症」の方が、見つけることができるように「ここも探してみよう」と、誘導してあげるとよいですね。

最後に、「介護者」がドロボウにされてしまつことで、自分は介護に向いてないのでは、と落ち込んでしまいます。今までもそんな「介護者」の方がいらつしやいました。しかし、その方々に共通するのは、「一生懸命に「認知症」に関わっている方ばかりです。落ち込まないで、自信をもってくださいね！

坂井きらめき 石川 陽子

お問い合わせ先 15 ページコールセンター

第9回理事会だより

2015年2月26日

協議・議決事項

①1月度事業・活動・経営報告

1月度の事業高は17億8千2百万円(計画比101.6%、前年比107.0%)、経常剰余金は67万円(計画差+6百万円、前年差+3百万円)となりました。

1月22日に福井市との地域見守り協定を締結しました。商品の配達時や店舗・福祉事業所などで見守り活動に取り組みます。

②2015年度具体化方針案

1月の理事会で承認した基調方針に基づき、事業別・分野別に具体的な進め方を協議しました。

③第37回通常総代会開催要項

第37回通常総代会を2015年6月18日(木)10時~12時30分に県民せいきょう本部センターで開催します。総代会に諮る議案などを確認しました。

確認事項

①第3四半期会計監査報告

監事による第3四半期(10月~12月)会計監査を2月23日に実施した結果、財産状況は公正妥当に処理されていると認められました。

【4大活動の状況】

2015年1月31日現在

	実績	計画比	前年比
組合員数	14万5,518人	100.5%	103.0%
出資金	88億3,962万円	99.6%	102.4%
共済加入	7万1,111件	100.2%	102.3%
事業高	178億9,019万円	100.1%	103.5%
無店舗	96億5,091万円	98.5%	99.4%
店舗	67億2,983万円	103.3%	107.6%
福祉	13億2,669万円	96.5%	115.6%
共済	1億8,275万円	98.9%	98.6%

※1万円未満は切り捨て